

Ensemble 14 第33回演奏会

Ensemble 14 Das 33. Konzert

J. S. Bach

カンタータ

BWV7 私たちの主キリストは、ヨルダン川に来られました

BWV61 今こそ来てください、異邦人の救い主よ

BWV178 主なる神が私たちの側にいてくださらなければ

BWV68 これほどに神はこの世を愛され

管弦楽: Millennium Bach Ensemble

声楽: Ensemble 14

指揮: 辻 秀幸

2025. **11.30** (日) 14:00開演(13:30開場)

浜離宮朝日ホール 日比谷線 築地駅 徒歩8分
都営大江戸線 築地市場駅 徒歩3分

入場料: 2,000 円 (全席自由)

◇お問い合わせ先 電話: 090-3816-2565 (小林: 演奏会前日まで受付)

E-Mail: concert_info@ensemble14.org

◇チケットぴあ Pコード: 301-625

◇Ensemble14 ホームページ <http://www.ensemble14.org>

- ・未就学のお子様のご入場はご遠慮願います。
- ・発熱や風邪の症状等、体調が悪い場合はご来場をお控えください。
- ・受付では出演者への花束・プレゼントはお預かりいたしません。

後援: JCDA 日本合唱指揮者協会

～ プログラムによせて ～

今回取り上げる 4 曲はいずれもコラールと縁の深いカンタータだ。ヴァイマル時代の 1714 年に作曲された 61 番は演奏会当日である待降節第 1 日曜日のためのもので、冒頭合唱では有名な待降節コラールが使われ、全曲を通して救い主の誕生を待つ喜びがあふれている。他の 3 曲はライプツィヒ時代初期の作品で、このうち二つ（7 番、178 番）は 1724 年 6 月～1725 年 3 月に 40 曲作曲されたコラール・カンタータに属する。7 番のヨルダン川の流れを表現した冒頭合唱では、珍しくテノール・パートがコラール旋律を歌う。躍動感あふれるテノールのアリア、切々と歌われるアルトのアリアも魅力的だ。178 番では構成する 7 曲に敵との闘いをテーマとしたコラール旋律が何度も現れ、全体的にドラマティックな音楽となっている。もう一つの 68 番は 1725 年 5 月初演で、冒頭合唱がコラール合唱、終曲が多声合唱と通常とは逆になっている。いずれも印象的な合唱曲で、「狩りのカンタータ」から転用された 2 つのアリアも親しみやすい。このように今回もバッハのカンタータの多様性を感じ取れる選曲となった。

指揮：辻 秀幸

Ensemble14 指揮者。幼少よりヴァイオリン・ピアノ・フルート・金管楽器・作曲を学び、東京藝術大学声楽科及び同大学院独唱科修了。声楽を渡邊高之助、宗教音楽を小林道夫、佐々木正利の各氏に師事。1985 年イタリアのミラノを中心にヨーロッパへ音楽遊学。リタ・グッアリーニ、F. タリアヴィーニ、H. リリングらの各氏に師事。

1986 年イタリアのノバラ市国際声楽コンクール入賞。同年ドイツのハイデルベルク、1988・89 年にはウィーン楽友協会大ホール、2000 年にはカイザースラウテルン、パッサウ他、数都市でベートーヴェン“第 9”のソリストを務め、ヨーロッパ各地でコンサートに出演し好評を博す。国内でもドイツ・イタリア・日本歌曲を中心に各地でユニークなリサイタル活動を展開し、オペラでは古典から現代に至るまで、数多くの作品に出演し、その優れた演技力と歌唱は、新聞・音楽誌上でも度々絶賛された。宗教音楽の演奏家としての活躍は特に目覚ましく、バッハ・ヘンデル・ハイドンの宗教曲・オラトリオの演奏では、ソリスト・エヴァンゲリスト・指揮者として、その活動は常に注目を集めている。

現在指導に当たっているアマチュア合唱団は 16 団体を数える。洗足学園音楽大学、東京藝術大学各講師、日本合唱指揮者協会会員、東京都合唱連盟理事長。共著に「わかって歌おうーレクイエム発音講座」、「フィガロの結婚 発音講座」等がある。

※ 辻 秀幸 Facebook サイト <https://www.facebook.com/hideyuki.tsuji>

管弦楽：Millennium Bach Ensemble (ミレニウム・バッハ・アンサンブル)

Millennium Bach Ensemble メンバー

ヴァイオリンⅠ：大西 律子*、鍋谷 里香 ヴァイオリンⅡ：高橋 万里子、本郷 幸子 ヴィオラ：高山 愛、渡邊 智生

チェロ：高群 輝夫 コントラバス：寺田 和正 ファゴット：井上 直哉 オルガン：平野 智美

オーボエⅠ：嶋崎 耕三 オーボエⅡ：多田 敦美 オーボエ・ダ・カッチャ：崎本 絵里菜

*: コンサートマスター

声楽：Ensemble 14 (アンサンブル・フィアツェン)

辻秀幸先生のもとで J. S. Bach のカンタータを中心に歌うアマチュア合唱団。これまでに半年～1 年の間隔で定期演奏会を実施。採り上げたカンタータは 80 曲を数える。そのほかに受難曲、口短調ミサ曲などを演奏している。

ソリストは団内から選出し、プロのオーケストラ（主に現代楽器）と共演する演奏スタイルで、東京周辺にて活動。

浜離宮朝日ホール 交通案内

「築地市場駅」 都営大江戸線（A2 出口）……………徒歩約 3 分

「築地駅」 東京メトロ日比谷線（1, 2 番出口）徒歩約 8 分

「東銀座駅」 東京メトロ日比谷線
都営浅草線（6 番出口）……………徒歩約 8 分

「汐留駅」 都営大江戸線（新橋駅方面改札口）
新交通ゆりかもめ（改札口）…徒歩約 10 分

「新橋駅」 JR（汐留口）
東京メトロ銀座線（1, 2 番出口）
都営浅草線（改札口）……………徒歩約 15 分

